

芦田川浄化成果をHPで

中国1級河川
38年ワースト1 PCや携帯から確認

中国地方の1級河川で水質が38年連続ワースト1となっている芦田川を浄化する取り組みを広げようと、市民や企業、市などをつくる「芦田川環境マネジメントセンター(AEMC)」や国土交通省福山河川国道事務所などは、パソコンと携帯電話で自分の取り組み状況や成果を確認できるホームページ(HP)を開設している。取り組みは、30日まで。

改善してこうと、2010年から11月を「河川浄化チャレンジ月間」として、①排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない②汚れのひどい鍋や食器はふき取ってから洗う――など家庭できる5項目を記したチラシを配るなどしている。

開設しているHP(hit.d:/600.g1k8j94)では、毎週日曜に5項目の取り組み状況を入力すると、登録者の中で、水質浄化に貢献したランキングや、水中のリン削減率などが表示される。取り組みだ成果を分かりやすく示すことで、やりがいを引き出すのが狙い。

チラシを配るだけだった昨年は、啓発前後で水の汚れを示す生物化学的酸素要求量(BOD)が4～6%減少するなどの効果があった。AEMCの川嶋康彦さん(42)は「多くの人の協力がないと水はきれいにならない。水質浄化に取り組む人が増えてほしい」と呼び掛けている。